

学校推薦型選抜 解答例

令和7年度

小論文 (一枚目)

問一

【出題の意図・採点の眼目】

筆者が考える〈やさしい日本語〉の功罪を読み取り、その内容を適切にまとめさせる問題である。〈やさしい日本語〉の功罪の要諦を捉え、的確に要約しているか、文章を論理的に組み立てられているか、的確な語句や表現が用いられているか、誤字脱字がないか、原稿用紙の使い方が適当か、などが採点の主なポイントである。

問二

【出題の意図・採点の眼目】

筆者の〈やさしい日本語〉に対する批判的な主張の要点を捉えた上で、学校教育において〈やさしい日本語〉を用いることの教育上の意味と活かし方について自身の意見を述べることを課している。学校や教室には特性等、様々な事情により教科等の学習活動への参加や内容理解において配慮が必要な児童・生徒も共に学んでいる。教師は、子どもの実態を捉えながら、ことばをやさしく言い換えたり書き換えたりして、彼らの学習活動への参加や内容理解を促す等、目の前の子どもの実態に合わせて日本語を調整して用いる力が求められる。学校教育におけるこれまでの自身の経験や具体的事例をもとに、〈やさしい日本語〉あるいは〈精密コード〉にはどのような効果と課題があるのかについて考察することが望ましい。その上で、初等、または中等教育の国語科の授業において〈やさしい日本語〉をどのように活かすことができ、何ができないかについて、具体例をあげながら論じているかも問いたい。解答内容の妥当性の他、適切な表現力、主張が明確で、論理的に構成された簡潔な文章であること、語彙・表現が豊かで表記が正しいこと等が採点のポイントとなる。